

いま新富町のこの人が気になる

SHINTOMI-JIN

#018 今月の新富人

公認太極拳指導員 大神憲子さん

1938年生まれ。平成6年に新富町で太極拳教室を開講以来、地域住人をはじめ、デイケアや高齢者教室での普及活動や健康増進の寄与につとめている。宮崎県武術太極拳連盟会長、新富町太極拳協会会長などを務めるかたわら、選手としても現役で活躍中。長年の功績から、令和3年度生涯スポーツ功労者文部科学大臣表彰を受賞。かつてはMRT宮崎放送や冠婚葬祭の司会など、声の仕事をしていたという。

大神さんと話していて驚くのが、その若々しさ。話し方から立ち姿まで、84歳という年齢をまったく感じさせません。太極拳教室でも、軸のぶれない流れるような動作に、思わず見惚れてしまいました。

大神さんが太極拳を始めたのは、平成3年のこと。それまではテニスを嗜んでいましたが、網膜剥離を起こし断念。目が悪くてもできるスポーツを探していた時、ちょうど募集していたのが町の生涯学習講座の太極拳教室でした。「近くて通いやすいから続いたの(笑)」と本人は語りますが、講座終了後も熱心に先生のもとへ足を運んだり、県外や本場の中国まで学びに行くほどのハマりっぷりだったそうです。当初は人に教えるつもりはありませんでしたが、頼まれて知り合いに教えていたところ、人づてに評判が広がり教え子が増え、教室を開講することになりました。



のりこさんです。

体ひとつあればどこでもできる太極拳。初心者も挑戦しやすい、ゆつたりした動作ながら、健康や体力の維持・向上に効果があるとして人気の高いスポーツです。この太極拳を30年近くにわたり新富町で教えているのが、大神憲子(おおがみのりこ)さんです。



「私がやっている二十四式太極拳は、名前のとおり24の動作があるんだけど、おもしろいのが動作の流れに逆らわないでいると、自然と次の動作に移れるの。この『自然に逆らわない』ところまでわかるようになると、楽しくなっちゃうよ! 全国大会やねりんピックには数回出場してるけど、挑戦する気持ちは持ち続けたいわ」と、太極拳の奥深さを語りながら、まだまだ現役続行を宣言する大神さん。そのバイタリティの高さは太極拳に留まらず、パソコンやLINEを使いこなしたり、広報誌等の音声訳ボランティアをしたり、実は放送大学に通いサークルをかけもちする現役大学生だったりと、枚挙に暇がありません。

「毎日あれこれやれているのは、太極拳と家族のおかげ。あとは、毎朝白湯を飲んで、太陽に向かって体を動かすことと、大神家の家風である謙虚に生きることを守っているからかしら(笑)」。人のために行動するのが苦にならないタイプだから、人とのつながりからも元気をもらってるわね」

ちなみに新富町では、若者の間でも太極拳が盛んで、大会に出る人が多いとのこと。「いつか新富町から国体選手が出てほしいわ!」とワクワクしながら語る大神さんの姿は、人生の生き方の参考になりそうです。

●新富町でご活躍されている方を編集部までお寄せください。
自薦・他薦は問いません。図総務課 ☎32・0196